

「点字入門講座」 H30.1. 28～3.11 (毎週月曜日 全6回)

川崎授産学園 市民交流事業 佐藤 恵

川崎授産学園(以下、学園)は、毎年、地域住民・市民を対象に点字入門講座を開催しております。講座の内容としては、点字の学習、ミニ講演、実践となっております。

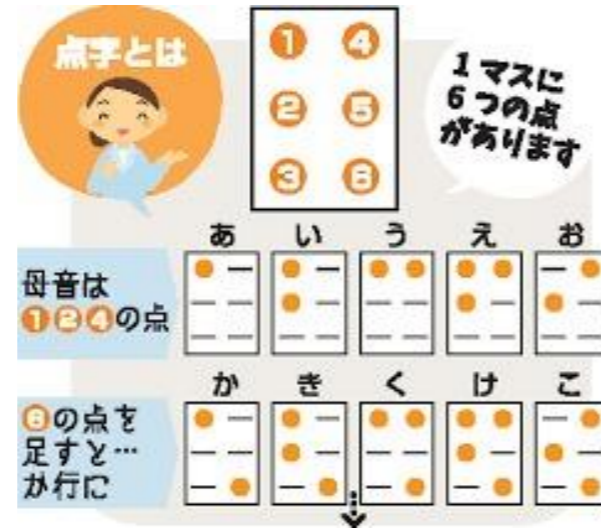
点字入門講座は、川崎授産学園で1984年(昭和59年)から開催しており、34年という歴史ある講座となっております。今まで560名を超える方々が修了されています

「点訳サークル木の芽会」について

1985年(昭和60年)の点字入門講座修了者で結成されたサークルです。現在は、第2・4月曜日の午前中に川崎授産学園の研修室で点訳ボランティアをされております。点字入門講座の中の「点字の学習」の講師を務めていただきました。

基本的を学ぼう

- ・視覚障害者 ⇒ “盲”
⇒ “ロービジョン(弱視)”
- ・晴眼者…視覚に障害のない人
- ・点字…指でさわって読む文字
- ・墨字…目を使って普通に読む文字



ミニ講演

①「点字図書館普及の歩みと現在の点字図書館へのニーズ」

講師：川崎市視覚障害者情報文化センター センター長 杉山雅章様

講座初日は、川崎市視覚障害者情報文化センターより杉山様をお迎えし「点字図書館普及の歩みと現在の点字図書館のニーズ」としてお話いただきました。まずは、川崎市川崎区にある視覚障害者のための「川崎市視覚障害者情報文化センター」についてご紹介いただきました。①図書の制作と貸出②自立を支援するための訓練(歩行訓練や点字訓練、調理訓練等)③生活に便利なグッズの販売④イベントの開催を行っています。

続いて点字図書館を創設した本間一夫氏について。1915年(大正4年)に北海道で生まれ5歳の時に髄膜炎で失明。失明してからは、読み聞かせで読書の喜びを知り、点字図書館の不足を嘆いて「点字図書館づくりを自らのライフワークにしよう」と決意。戦争という困難を乗り越え、現在では点字図書館が全国に普及しました。1990年頃から、徐々にパソコンが普及し、パソコンでの点訳も可能になってきたとのこと。

～点字図書館の願い～

視覚障害をお持ちの方は、読書をしている時は身の不自由さを忘れるものです。それは、書物の世界が自由と明るさと癒しを与えてくれるからです。

「一冊でも多くの図書を作りたい。」



②「日常生活の中での点字活用法」

講師：川崎市視覚障害者福祉協会 女性部長 大瀧純子様

大瀧様は視覚障害を持っています。小学6年から徐々に低下し全盲となりました。中学・高校からは盲学校に通うと同時に家を離れ寄宿舎で生活されました。“目が見えないから何もできない”ではなく、寄宿舎では洗濯等含め身の回りのことは全部自分で行う生活だったそうです。高校卒業後は結婚されお二人のお子様にも恵まれました。講演の中では、目が見えない分、聴覚、触覚、全ての感覚を研ぎ澄まし、様々な工夫を取り入れながら育児や家事をされてきたお話を伺うことができました。例えば、お子様が小さい時には居場所把握の為に、音の鳴る靴を履かせたり鈴を着けさせたり。家事ではマヨネーズ等の調味料には点字シールを貼ったり、視覚障害があっても使用可能な便利グッズを活用されたり。

講演後半では、日常生活の中での不安な話がありました。それは「外出」だそうです。音が鳴らない信号の横断、駅のホーム、総合病院も単独では不安があるそうです。

最後に、大瀧様からのメッセージです。

外出先で(白杖を持った)視覚障害者の方に会ったら・・・

“勇気を出して「何か手伝いましょうか」等と声を掛けてほしい”
駅のホーム等その場の状況によっては、視覚障害者の命の恩人になるかもしれません。

☆実践☆「視覚障害者への接し方・誘導法について」

神奈川県視覚障害者援助赤十字奉仕団 講師：園田治子様・中村泰子様

実践では、視覚障害者の誘導の仕方と配慮したいことを講義と体験を通して学びました。

<基本姿勢>

- ・誘導者は「肘の上を持ってください」と言いながら視覚障害者の手を取って肘の少し上を握ってもらいます。
- ・握られた方の腕は事前に下におろし、歩くときは、前後に振ったり、脇から離さないでください。
- ・視覚障害者は腕を曲げることにより、自然に半歩後ろになり、安心して歩けます。



☆実践では、二人一組でアイマスクを着けて基本の誘導、階段昇降、車の乗降の仕方について学びました。

★2019年度の点字入門講座の日程について★

- ・2020年1月27日・2月3日・10日・17日・3月2日・3月9日
(全6回 毎週月曜日 10:00～12:00)で予定しております。
- 日程が近くなりましたら、チラシやポスター等でご案内いたします。
- 点字にご興味のある方、是非、お待ちしております。

★見学やボランティア希望等の方はご連絡をお待ちしております★

社会福祉法人セイワ 川崎授産学園

担当：佐藤 酒井

〒215-0001 川崎市麻生区細山1209番地

TEL 044-954-5011(代)

FAX 044-954-6463

E-mail info@seiwa-gakuen.jp